資料２

令和２年度第１回上越地域医療構想調整会議
人工腎臓透析医療分科会　概要　（案）

１　日時

令和３年２月２５日(木)　午後６時から午後７時３０分まで

２　場所

上越保健所２階　第１会議室

３　参加者（敬称略）

構成員：上野光博、入江誠治、秋山史大（Zoom 参加）、亀田茂美、矢嶋晃仁（代）、佐藤勇也（Zoom 参加）、渡辺省吾、内山一晃、齊藤隆生（Zoom 参加）、大川富男、市川均、今井一彦（Zoom 参加）、卜部勝博（Zoom 参加）、久我誠、山﨑理、齋藤昌幸　（Zoom 参加）

（事務局等９名　随行者１名　報道機関２社３名　傍聴者３名）

４　概要

（１）開会あいさつ　（山﨑保健所長）

（２）審議等事項　（上野座長）

ア　資料説明

イ　意見交換

〔発言内容等〕

各透析施設の代表者より、各施設の現状及び課題について発言あり。

- 透析機器（コンソール）やスタッフの問題、通院の問題
- 高齢化に伴い、認知症の人や介護の必要な人が多くなっている
- 通院の問題：大雪があって緊急的に救急車を呼んだ事例
- 現在も、透析導入を行っている施設と維持透析を行っている施設が役割分担・連携を図りながら行っている
- 慢性腎臓病の患者が多く、透析導入に至る人を少しでも減らしていく啓発活動、病診連携を含め取り組んでいる

本日は第１回目であり、現状についての認識を共有した。課題や今後の方向性について、今後議論していく。

＜配布資料＞

資料１　　：上越地域における人工腎臓透析医療に関係する会議
資料２　　：上越地域における透析医療の現状と今後の体制について
参考資料１：人工腎臓透析医療分科会設置要綱
参考資料２：新潟県における人工透析医療の現状
参考資料３：医療圏別人工透析装置１台当たりの患者数【構成員限り】
参考資料４：上越市内旧市町村別人工透析実施患者数【構成員限り】

R3. 2. 25透析分科会　資料１

上越地域における人工腎臓透析医療に関係する会議

新規透析導入の抑制

上越地域慢性腎臓病（ＣＫＤ）対策
推進会議（R3.3.11予定）

上越地域糖尿病対策連携会議（R2.9.10）
・連携ワーキング（R2.12.9）
・働く世代ワーキング（R2.10.29）
・保健指導（栄養）ワーキング（R2.11.17）

予防と医療が
車の“両輪”となる

医療提供体制の確保

上越地域医療構想調整会議
人工腎臓透析医療分科会
（R3.2.25）

上越地域医療構想調整会議
（R3.3.10予定）

R3.2.25 透析分科会　資料２

令和３年２月 25 日

上越地域振興局健康福祉環境部

糸魚川地域振興局健康福祉部

上越地域における透析医療の現状と今後の体制について

※上越地域；上越医療圏（上越市、妙高市、糸魚川市）

１　患者及び医療体制の現状

（１）透析患者

・　患者数は近年漸増傾向にある。(H27：524 人⇒R1：581 人、R2：558 人)

※ 参考資料３及び参考資料４を参照

・　高齢化や ADL の低下に伴い通院困難な患者が増加。

・　各市単位でみると、概ね市内の透析医療機関で完結しているものの、一部遠距離の通院患者あり。

（２）透析医療体制

・　上越地域におけるコンソール１台当たり患者数は県平均を上回って推移。

・　透析専門医の安定的な確保が困難。

【現在の透析医療機関（６施設)】

上越市：新潟労災病院、県立中央病院、上越総合病院、渡辺内科医院

妙高市：けいなん総合病院

糸魚川市：糸魚川総合病院

２　今後の方向性

○　中長期的には、透析医療の質を維持しつつ、医療従事者の育成・資質向上にも資する透析医療体制の構築をめざし、透析医療施設の連携及び機能分担を進めていく。

○　当面は、限られた医療資源の中、医療提供体制の効率化を図りつつ、上越医療圏内の地域（各市域）ごとに透析医療体制を維持できるよう、種々の課題解決に取り組む。